



シラバス SYLLABUS

2025
《令和7年度》

専攻科
・歯科衛生学専攻

日本歯科大学新潟短期大学
The Nippon Dental University College at Niigata

令和7（2025）年度 専攻科 シラバス目次

シラバスの活用方法	2
専攻科歯科衛生学専攻授業科目等	4
教育の理念等	5
年間教務予定表	6
授業時間表	7
【前学期】	
科学論文論	8
歯科医学特論	11
コンピュータデータ解析演習（選択）	14
専門歯科医療論	17
専攻研究	20
地域保健指導実習	23
歯科衛生学演習	26
歯科臨床実地	29
歯科衛生士教育実習	32
【後学期】	
食育・食指導演習（選択）	36
専攻研究	39
臨床咬合学演習（選択）	42
歯科衛生学演習	45
生命科学論	48
歯科臨床実地	51
歯科衛生士教育実習	54

シラバスの活用方法

本シラバスは毎日必ず携行し、授業の前後に記載内容を確認しながら、能動的に学習を進めてください。

各授業科目における記載項目、内容およびそれらの活用方法は以下の通りです。

【記載項目】

◆授業形態

講義・演習・実習

◆授業責任者

授業科目の責任者

◆学期

前期・後期・通年

◆授業概要

授業の概要を記載しています。初回の授業前には必ず確認しましょう。

◆一般目標 (General Instructional Objective:GIO)

学習することにより得られる成果を総合的に示したもので、授業科目を終了した時点で達成されるべき目標です。

◆学習成果

授業を通して得られる成果が、ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーのどの部分に該当するのかを記載しています。

◆教科書・参考書

授業において使用する教科書・参考書および教員推薦の図書などを記載しています。授業中だけでなく予習・復習などの自己学習を充実するために、教科書だけでなく、参考書も積極的に利用しましょう。

◆アクティブラーニング

学生の能動的な学修への参加を取り入れた学習法の総称。

PBL (Project Based Learning)：テーマに沿ったプロジェクト又は特定の問題を提示し、それらの問題解決を通して、様々な知識・スキルを学ばせる方法。

ディベート：明確なルールに基づいて、肯定派と否定派に分かれて議論する方法。

ディスカッション：決められたテーマに対して自由に意見を交わす方法。

フィールドワーク：学内外のフィールドに赴き、調査や観察を通して情報収集を行う方法。(学外施設等の見学を含む。)

プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で発表を行う方法。

◆成績評価の方法

各授業科目における評価方法を記載しています。

複数の評価方法がある場合には、比率を明示していますので予め確認しておきましょう。

目標への到達度は、知識については定期試験における論述試験や客観試験で、臨床実習・臨地実習については、学習の成果を評価します。

◆オフィスアワー

授業科目責任者や授業担当者の連絡方法を記載しています。

授業内容に関する質問や学習方法に関する相談などを行う際に利用してください。

◆授業担当者

授業日ごとの授業担当者を記載しています。

◆授業内容

授業のテーマ、授業の内容を記載しています。

◆行動目標 (Specific Behavioral Objectives:SBOs)

SBOsはGIOを達成するために必要な具体的・観察可能な行動を示しています。授業の進行に応じて到達度を確認するときに利用しましょう。

講義科目については、試験前にも必ず確認してみましょう。

◆準備学習（予習・復習）

1単位は45時間の学習に相当します。

講義の場合は、受講15時間と予習・復習30時間、演習の場合は、受講30時間と予習・復習15時間、実習の場合は、受講45時間となっています。

本欄に記載されている担当教員からの指示にしたがって、予習・復習を実施しましょう。

◆単位数

各授業科目の単位数は、次の基準により計算しています。ただし、1時間は40分としています。

①講義については、15時間の授業をもって1単位とします。

②演習（語学を含む）については、30時間の授業をもって1単位とします。

③実習については、45時間の授業をもって1単位とします。

④教育上必要があるときは、講義及び演習については15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、実験・実習及び実技については30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、それぞれ1単位とすることがあります。

専攻科歯科衛生学専攻授業科目等

科 目 名	単位数
科学論文論	2
歯科医学特論	2
コンピュータデータ解析演習（選択）	2
食育・食指導演習（選択）	2
専門歯科医療論	2
専攻研究	4
臨床咬合学演習（選択）	2
地域保健指導実習	1
歯科衛生学演習	4
歯科臨床実地	1 0
生命科学論	2
歯科衛生士教育実習	4
合 計	3 7

教育の理念等

教育の理念

本学学則には、その目的を「本学は、学校教育法の精神に基づき、歯科衛生及び歯科技工に関する専門の知識と技術を教授研究し、高度な歯科衛生士及び歯科技工士の育成を図ることを目的とする」と規定している。この目的を体して、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成する。

教育の目的

教育の理念を具現するために、一般教養と基礎医学及び臨床に関する最新の講義と実習を行い修得させる。これにより、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成し口腔保健衛生、歯科技工の向上に寄与し、保健・医療・福祉に貢献することを目的とする。

教育の目標

1. 地域医療に貢献できる歯科衛生士を育成する。
2. 健康増進と疾病の予防に貢献できる歯科衛生士を育成する。
3. 自らの健康を守り、豊かな人間性を持った歯科衛生士を育成する。
4. 幅広い教養と倫理観を持った歯科衛生士を育成する。
5. 社会のニーズに対応し、自己研鑽できる歯科衛生士を育成する。
6. 多職種の中での役割を理解し、協働連携できる歯科衛生士を育成する。
7. 問題を発見し解決する能力を持った歯科衛生士を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学専攻科では、修業年限是移籍し、所定の単位を取得するとともに、以下の素養を身につけた学生に修了を認定する。

1. 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
2. 専門分野の高度な知識・技能を習得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
3. 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
4. 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育の理念に基づいた人材育成のために、実践力と応用力の向上のできる科目を構築する。

1. 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
2. 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所にて臨床教育を行う。
3. 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

歯科衛生学専攻 学士（口腔保健学）修得を目標とした教育・指導を行う。

令和7年度 専攻科 年間教務予定表

月	日	曜	事 項
4	3	木	入学式・オリエンテーション
	8	火	前学期授業開始
	26	土	クラブ活動週間 (～5月6日(火)まで休講)
5	21	水	学生交流会 (休講)
6	1	日	創立記念日
	中旬		浜浦祭 (学生会主催)
			定期健康診断
7	23	水	夏期休業 (歯科衛生学専攻) (～8月31日(日))
8			
9	30	火	前学期授業終了
			後学期オリエンテーション
10	1	水	後学期授業開始
12	23	火	冬期休業 (歯科衛生学専攻) (～1月12日(月))
2	中旬		後学期授業終了
			歯科衛生研究会
	下旬		専攻科修了審査
3	中旬		修了式

新潟短期大学

令和7（2025）年度 専攻科 歯科衛生学専攻 授業時間表

前学期	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
	9：00～10：20	10：40～12：00	13：00～14：20	14：40～16：00	16：20～17：40
月		歯科医学特論	歯科衛生士教育実習	歯科衛生士教育実習	
				専攻研究	
火	コンピュータ解析演習		歯科衛生学演習		
水	歯科臨床実地		歯科臨床実地		
木	専攻研究		歯科臨床実地		
金		専門歯科医療論	科学論文論	歯科衛生士教育実習	
				専攻研究	

後学期	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
	9：00～10：20	10：40～12：00	13：00～14：20	14：40～16：00	16：20～17：40
月	歯科衛生学演習		臨床咬合学演習		
火	食育・食指導演習		歯科臨床実地		
	生命科学論				
水	歯科臨床実地		歯科臨床実地		
木	歯科衛生士教育実習		歯科衛生士教育実習		
	専攻研究		専攻研究		
金	歯科衛生士教育実習		歯科衛生士教育実習		
	専攻研究		専攻研究		

※地域保健指導実習は全学期において専攻研究、歯科臨床実地または歯科衛生学演習の時間に行う。

授業科目名

科学論文論

授業形態

講義

授業責任者

今井 あかね

学年

専攻科

学期

前期

曜日

金曜日

授業時間

13:00～14:20

授業概要

エビデンスに基づく歯科衛生業務の充実と発展に向けて、歯科衛生研究の必要性および意義を理解する。研究に対する倫理観および分野・内容について学び、研究の立案・進め方について修得する。文献検索を通して、歯科医学における課題と研究動向を提示し、研究方法を検討する。標題、緒言、材料と方法、結果、考察、結語(要旨、著者抄録)、謝辞、文献などの各要素の著述様式を修得する。※選択科目の歯科衛生研究概論をすでに受講した者は、専攻研究の準備のため教員にゼミ形式で個別指導を受ける場合がある。大学院進学希望者は英語論文を読解できる能力を修得する。

一般目標(GIO)

専攻研究を遂行するために、コンピュータやインターネットの活用方法を学び、科学論文を読んで理解し、破綻のない論文作成のための知識を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

歯科衛生研究の進め方 論文の書き方・第3版 日本歯科衛生学会(医歯薬出版)

参考書

EZRでやさしく学ぶ統計学・神田善伸 著・中外医学社、みんなの医療統計～12日間で基礎理論とEZRを完全マスター～・新谷歩 著・講談社、各自の専攻研究実験ノート

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他(専攻レポート)

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(70 %)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(30 %)
- ☐ その他()(%)

一般目標で示した項目について、学位授与機構に提出する専攻レポートの進捗状況(70%)と、専攻レポート作成のための文献紹介および質疑応答(30%)により評価を行う。

オフィスアワー

在室時随時・短期大学教授室(2号館3階) E-mail: imaiak@ngt.ndu.ac.jp (今井あかね)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	今井 あかね	オリエンテーション 研究の種類と留意点、主な研究方法	1. 科学論文の種類と構造について説明する。 2. 研究を始めるにあたっての考え方および分野・内容について理解した上で研究の立案・進め方について述べる。
	準備学習	教科書を読んで科学論文とはどういうものなのかまとめる。自分の興味のある研究分野を考えてくる。	
第2回	今井 あかね	先端研究センター見学 研究倫理（1）	1. 先端研究センターを見学する。 2. どの機器で何を測定できるのか説明する。 3. 個人情報保護法、利益相反および倫理審査などを理解する。
	準備学習	教科書を読んで、研究倫理がなぜ必要なのか書き出してみる。	
第3回	図書館 (中山 楓太)	医中誌検索講習会	1. インターネットを駆使して文献検索する。 2. 文献を入手するために図書館を利用する。
	準備学習	自分の興味のある研究分野・キーワードを考えてくる。	
第4回	今井 あかね	文献検索（1）	1. 興味ある論文を検索する。 2. 論文を読んで知見やエビデンスを理解し述べる。
	準備学習	自分の興味のある研究分野・キーワードを考えてくる。自分の興味のある研究テーマを5つ書き出してくる	
第5回	今井 あかね	文献検索（2）	1. 文献を読んで理解して内容を列挙する。 2. 文献紹介用の資料を作成できる。
	準備学習	文献を読んで、他者に理解してもらえるような資料を作成する。文献リストを作成する。	
第6回	今井 あかね	文献紹介と研究課題設定	1. 文献の内容を他者に説明する。 2. 他者の発表を聞いて理解し、質問する。 3. 自分の専攻研究レポートの課題を述べる。
	準備学習	文献紹介のスライドを完成させる。スムーズな発表ができるよう、練習をする。	
第7回	今井 あかね	研究倫理（2）	1. 研究倫理審査申請書を作成する。 2. 研究対象者に研究の趣旨を説明する。
	準備学習	本学の研究倫理規定と利益相反規定を熟読してくる。学術振興会の研究倫理e-ラーニングを受講して修了書を提出する。	
第8回	今井 あかね	研究計画の立案（1）	1. 費用・時間・倫理的問題などに配慮した研究方法を記述する。
	準備学習	研究テーマを絞り込み、必要の文献を収集する。集めた文献を読み込み、何が研究に必要なのかを書き出す。	
第9回	今井 あかね	研究計画の立案（2）	1. 研究課題の意義・目的を記述する。 2. 結果を得るための時系列を追った最適な手順の研究計画書を作成する。
	準備学習	研究倫理申請書を作成する。研究計画書を作成する。	
第10回	今井 あかね	研究計画の立案（3）	1. 予想される結果（仮説）を述べる。 2. 研究計画書の確認を行う。
	準備学習	専攻研究担当教員から研究倫理申請書のチェックを受けて完成させる。	

第11回	今井 あかね	研究実施・レポート作成(1)	1.研究計画書にしたがって研究を行う。 2.レポート作成のための準備を行う。
	準備学習	学位授与機構のホームページから専攻レポートのフォーマットをダウンロードしておく。専攻レポートを作成するための基本的なPC操作 (Word, Excel, Powerpoint 等)を確認しておく。	
第12回	今井 あかね	研究実施・レポート作成(2)	1.研究計画書にしたがって研究を行う。 2.レポート作成のための準備を行う。
	準備学習	文献リストを作成する。専攻レポートを書き始める。	
第13回	今井 あかね	専攻研究レポートの書き方	1.専攻研究レポートの書式を理解する。 2.書式に従いレポートを作成する。
	準備学習	実験・研究を進めて、書ける部分から専攻レポートを書く。実験のデータ解とそれに基づく図表の作成を進める。	
第14回	今井 あかね	研究実施・専攻レポート作成(3)	1.研究計画書にしたがって研究を行う。 2.レポート作成を進める。
	準備学習	専攻レポートを書き進める。書けたところまでの専攻レポート提出する。	
第15回	今井 あかね	レポート内容の発表とディスカッション	1.研究レポートの内容を説明する。 2.お互いのレポート内容に関して客観的に評論する。 3.より良いレポートを完成させるため、修正を行う。
	準備学習	専攻レポートを書き進める。書けたところまでの専攻レポート提出する。	

授業科目名

歯科医学特論

授業形態

講義

授業責任者

加藤 千景

学年

専攻科

学期

前期

曜日

月曜日

授業時間

10:40～12:00

授業概要

3年間の歯科衛生学科での学びを活かし、自身の興味のある分野を更に追及するため歯科臨床医学における基本的な情報収集方法について学びを深める。本授業では歯科衛生士としての基本的スキルを振り返り、自身の課題解決能力を高める。

一般目標(GIO)

歯科医療業務に必要な歯科臨床医学の知識を習得するために必要な資料採得や実践方法を理解する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書**参考書****アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(100%)
- ☐ ポートフォリオ() (%) ☐ 成果発表(口頭・実技)() (%)
- ☐ その他()() (%)

歯科衛生士養成課程で修得した基礎的な知識、技能をもとに、一歩踏み込んだ内容を実践的に行うことにより理解と手技を深めていく。レポートにより理解度の点数化を行う。

オフィスアワー

E-mail: chikage@ngt.ndu.ac.jp(加藤千景)新潟短期大学(短大2階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	加藤 千景	ホワイトニング講義 ・ホワイトニングの種類と方法を理解する。	1. ホワイトニングの種類と方法を理解できる。 2. ホワイトニングの際の患者への注意事項を理解できる。
	準備学習	保存教科書ホワイトニング該当ページを参照の上参加する事。	
第2回	加藤 千景	印象採得、石膏模型作成（1） ・カスタムトレーの作成手順を理解する。	1. 精密印象採得を行い、石膏模型の作成を行うことができる。
	準備学習	模型作成手順を復習したうえで参加する事。	
第3回	加藤 千景	印象採得、石膏模型作成（2） ・カスタムトレーの作成手順を理解する。	1. 精密印象採得を行い、石膏模型の作成を行うことができる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第4回	加藤 千景	模型のトリミングとレザボアの付与 ・石膏模型のトリミングとレザボアの付与の手順を理解する。	1. 石膏模型のトリミングと気泡の除去を行い、レザボアの付与を行うことができる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第5回	加藤 千景	カスタムトレー作成（1） ・カスタムトレーの作成手順を理解する。	1. カスタムトレー用シートからトレーを作成できる。 2. 作成したトレーの適切なトリミングができる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第6回	加藤 千景	カスタムトレー作成（2） ・カスタムトレーの作成手順を理解する。	1. カスタムトレー用シートからトレーを作成できる。 2. 作成したトレーの適切なトリミングができる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第7回	加藤 千景	歯面研磨、測色（漂白前） ・測定器を用いた測色法を理解する。	1. 歯面研磨により着色を除去できる。 2. 測色を行いシェードの判定ができる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第8回	加藤 千景	測色（漂白後） ・測色器を用いた測色法を理解する。	1. 測色を行いホワイトニングの効果を理解できる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第9回	加藤 千景	2 級窩洞のコンポジットレジン修復（1） ・2 級窩洞のコンポジットレジン修復法を理解する。	1. トッフルマイヤー型リテーナーの使用法が理解できる。 2. リング状リテーナーの使用法が理解できる。
	準備学習	保存修復・歯内療法該当ページを参照の上参加する事。	

第10回	加藤 千景	2 級窩洞のコンポジットレジン修復（2） ・ 2 級窩洞のコンポジットレジン修復法を理解する。	1 . トッフルマイヤー型リテーナーの使用法が理解できる。 2 . リング状リテーナーの使用法が理解できる。
	準備学習	保存修復・歯内療法該当ページを参照の上参加する事。	
第11回	加藤 千景	ラバーダム防湿（1） ・ 1 歯露出のラバーダム防湿法を理解する。	1 . 1 歯露出のラバーダム防湿ができる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第12回	加藤 千景	ラバーダム防湿（2） ・ 多数歯露出のラバーダム防湿法を理解する。	1 . 多数歯露出のラバーダム防湿ができる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第13回	加藤 千景	テンポラリークラウンの作成（1） ・ テンポラリークラウンの作成方法理解する。	1 . テンポラリークラウンの作成方法を理解できる。 2 . テンポラリークラウンの具備条件を理解し作成できる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第14回	加藤 千景	テンポラリークラウンの作成（2） ・ テンポラリークラウンの作成方法理解する。	1 . テンポラリークラウンの作成方法を理解できる。 2 . テンポラリークラウンの具備条件を理解し作成できる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	
第15回	加藤 千景	テンポラリークラウンの作成（3） ・ テンポラリークラウンの作成方法理解する。	1 . テンポラリークラウンの作成方法を理解できる。 2 . テンポラリークラウンの具備条件を理解し作成できる。
	準備学習	歯科診療補助論該当ページを参照の上参加する事	

授業科目名

コンピュータデータ解析演習(選択)

授業形態

演習

授業責任者

長谷川優

学年

専攻科

学期

前期

曜日

火曜日

授業時間

9:00～10:20・10:40～12:00

授業概要

歯科衛生士に必須のスキルである、統計の基礎知識とデータ処理の手法を習得する。さらに、インターネットを通じて情報発信する際のデータの取り扱いに関するルールやマナー、セキュリティの管理についても学習する。

一般目標(GIO)

データ解析を適切に行うために、基本的な統計の知識と手法をMicrosoft Excelの基本的な操作を通じて身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

授業プリント
USBメモリー(データ保存用)

参考書

歯科衛生研究の進め方・論文の書き方 第3版 日本歯科衛生学会監修 石井拓男、鳥山佳則、武井典子、吉田直美編 医歯薬出版株式会社

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)() (%)
- ☐ ポートフォリオ() (%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(100%)
- ☐ その他() () (%)

プレゼンテーションによる成果発表(50%)と、その理解度を確認するための口頭試問(50%)により評価を行う。

オフィスアワー

E-mail: haseyu@ngt.ndu.ac.jp
新潟短大大学研究室Ⅳ(3号館3階)
オフィスアワーは特に設けません。まずはメールにてご連絡ください。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	長谷川 優	メールとインターネット (1)	1. メールアドレスを設定する。 2. インターネットの情報検索を行う。 3. ネットワークセキュリティについて説明する。
	準備学習	日本歯科大学 website の学内専用ページから IT センター関係 (メール設定・各種マニュアル等) にアクセスし、メール送受信設定ページの内容確認	
第 2 回	長谷川 優	メールとインターネット (2)	1. web メール送受信を行う。 2. 文献検索エンジンで情報検索を行う。 3. ネットワークセキュリティについて説明する。
	準備学習	日本歯科大学 website の学内専用ページから IT センター関係 (メール設定・各種マニュアル等) にアクセスし、メール送受信設定ページの内容確認	
第 3 回	長谷川 優	表計算ソフト	1. Excel の基本操作を習得する。 2. 四則演算や関数を用いた計算を行う。 3. 表の作成と書式の変更を行う。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	
第 4 回	長谷川 優	データのグラフ化	1. 様々なデータの入力を行う。 2. データから様々なグラフを作成する。 3. グラフの書式を変更する。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	
第 5 回	長谷川 優	統計-1	1. 評定尺度を説明する。 2. 評定尺度によるデータ分類を説明する。 3. 平均値と標準偏差を説明する。 4. 中央値と四分位範囲を説明する。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	
第 6 回	長谷川 優	統計-2	1. 統計検定の基本手順を説明する。 2. 有意水準と棄却域を説明する。 3. 統計の検出力を説明する。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	
第 7 回	長谷川 優	統計-3	1. 検出力と効果量の関係を説明する。 2. 有意水準と検出力の関係を説明する。 3. 適切な標本サイズの決定方法を説明する。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	
第 8 回	長谷川 優	統計-4	1. 検定力分析の種類を説明する。 2. 均等なサンプルの集め方を説明する。 3. 検出力分析用フリーソフトウェアを使用する。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	
第 9 回	長谷川 優	統計-5	1. 対応関係を説明する。 2. 帰無仮説を説明する。 3. 平均値の差の検定を説明する。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	
第10回	長谷川 優	統計-6	1. 多群の平均値の差の検定を説明する。 2. 多重比較法を説明する。 3. 一元配置分散分析を説明する。 4. 二元配置分散分析を説明する。
	準備学習	参考書 第 4 章 統計解析 の要点確認	

第11回	長谷川 優	統計-7	1. 相関係数の意味を説明する。 2. 正の相関と負の相関を説明する。 3. 相関関係と因果関係を説明する。
	準備学習	参考書 第4章 統計解析 の要点確認	
第12回	長谷川 優	統計-8	1. データの尺度を説明する。 2. パラメトリック法とノンパラメトリック法の違いを説明する。 3. 統計解析の方法を選択する。
	準備学習	参考書 第4章 統計解析 の要点確認	
第13回	長谷川 優	統計-9	1. カテゴリカルデータの分析法を説明する。 2. ノンパラメトリック法の使い分けを説明する。
	準備学習	参考書 第4章 統計解析 の要点確認	
第14回	長谷川 優	統計-10	1. 質的データの分析法を説明する 2. テキストマイニングの基本を説明する。 3. アンケート実施の基本を説明する。
	準備学習	参考書 第4章 統計解析 の要点確認	
第15回		補講日	連携教育総合ゼミの日程によっては、実習を繰り下げて行う。
	準備学習		

授業科目名

専門歯科医療論

授業形態

講義

授業責任者

長谷川 優

学年

専攻科

学期

前期

曜日

金曜日

授業時間

10:40～12:00

授業概要

指導的立場に立つ歯科衛生士として、機能的かつ審美的な咬合に関する専門的な知識を修得する。

一般目標(GIO)

機能的かつ審美的な咬合を確立・維持するために、歯列と咬合を中心とした顎顔面の成長発育と加齢変化に関する知識を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所にて臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

特に指定はありません(必要に応じて資料を配布します)。

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(60%)
- ☐ ポートフォリオ() (%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(40%)
- ☐ その他() () (%)

レポート等の提出物(60%)、プレゼンテーションの質とその内容に対する理解度を図るための口頭試問(40%)により評価を行う。

オフィスアワー

E-mail: haseyu@ngt.ndu.ac.jp
 新潟短期大学研究室Ⅳ(3号館3階)
 オフィスアワーは特に設けません。まずはメールにてご連絡ください。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	長谷川 優	矯正歯科治療とは プロファイルとスマイルの 審美性	1. 矯正歯科治療の適応症と限界を説明する。 2. 審美的なプロファイルの説明する。 3. 審美的なスマイルを説明する。
	準備学習	プロファイルとスマイルについて、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 2 回	長谷川 優	成長発育	1. 歯列を含めた顎顔面の成長発育を説明する。 2. 口腔周囲筋の機能が歯列弓に与える影響を説明する。
	準備学習	口腔周囲筋の働きと歯列の成長発育について、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 3 回	長谷川 優	口腔機能発達不全症 (1)	1. 口腔機能発達不全症の病態・病状・診断基準を説明する。 2. 口腔機能発達不全症の指導・管理における歯科衛生士の役割を説明する。
	準備学習	口腔機能発達不全症について、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 4 回	長谷川 優	口腔機能発達不全症 (2)	1. 口腔機能発達不全症の病態・病状・診断基準を説明する。 2. 口腔機能発達不全症の指導・管理における歯科衛生士の役割を説明する。
	準備学習	口腔機能発達不全症について、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 5 回	長谷川 優	口腔筋機能療法 (1)	1. 幼児型嚥下と成熟型嚥下の違いを説明する。 2. 筋機能療法の治療計画を説明する。
	準備学習	口腔機能発達不全症について、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 6 回	長谷川 優	口腔筋機能療法 (2)	1. 筋機能療法のステップ、トレーニング法を説明する。
	準備学習	口腔機能発達不全症について、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 7 回	長谷川 優	顎口腔系の構成	1. 対合関係を説明する。 2. 咬合様式を説明する。 3. 下顎運動を説明する。
	準備学習	咬合と下顎運動について、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 8 回	長谷川 優	咀嚼筋と顎関節の触診	1. 顎関節の触診法を説明する。 2. 筋の触診法を説明する。 3. 触診の評価法を説明する。
	準備学習	咀嚼筋と顎関節について、文献検索エンジンを活用して論文を抽出し、一読する。	
第 9 回	長谷川 優	学会活動と認定資格	1. 学会と歯科衛生士の関わりを説明する。 2. 歯科臨床および歯科審美に関連する歯科衛生士の資格を説明する。
	準備学習	認定資格とその要件について、検索エンジンを活用して情報を抽出し、整理する。	
第10回	長谷川 優	キャリア選択 (1)	1. 自身のキャリア選択を述べる。 2. キャリア選択についてディスカッションする。
	準備学習	自身のキャリア選択に有用な情報を収集する	
第11回	長谷川 優	キャリア選択 (2)	1. 自身のキャリア選択を述べる。 2. キャリア選択についてディスカッションする。
	準備学習	自身のキャリア選択に有用な情報を収集する	

第12回	長谷川 優	キャリア選択（3）	1. 自身のキャリア選択を述べる。 2. キャリア選択についてディスカッションする。
	準備学習	自身のキャリア選択に有用な情報を収集する	
第13回	長谷川 優	キャリア選択（4）	1. 自身のキャリア選択を述べる。 2. キャリア選択についてディスカッションする。
	準備学習	自身のキャリア選択に有用な情報を収集する	
第14回	長谷川 優	キャリア選択（5）	1. 自身のキャリア選択を述べる。 2. キャリア選択についてディスカッションする。
	準備学習	自身のキャリア選択に有用な情報を収集する	
第15回	長谷川 優	キャリア選択（6）	1. 自身のキャリア選択を述べる。 2. キャリア選択についてディスカッションする。
	準備学習	自身のキャリア選択に有用な情報を収集する	

授業科目名

専攻研究

授業形態

演習

授業責任者

宮崎 晶子

学年

専攻科

学期

前期

曜日

月・木・金曜日

授業時間月曜日14:40～17:40、木曜日9:00～12:00、
金曜日14:40～17:40**授業概要**

学士の学位取得のため、興味のあるテーマについて教員の指導のもとに研究を行う。研究は、大きく分けて2つの形式があり、研究計画を立案しその計画に従って実験を行うものや、テーマに関する研究論文などの著作物の概要や評価をまとめて記述するものがある。研究成果は論文形式とし、「独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構」に「学修成果」として10月期に提出する。オムニバス方式をとることによって、より高度で専門的な知識や技術を修得する。研究成果は歯科衛生研究会で発表する。さらに希望者には学会誌への論文投稿を目指してもらう。

一般目標(GIO)

歯科衛生士という視点で、歯科も含めたあらゆる物事に関しての疑問や課題について研究し、新しい知識や理論を導き出す能力を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所にて臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

各自の専攻研究用ノート□

参考書

歯科衛生研究の進め方・論文の書き方 第3版 医歯薬出版

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() % ☐ 提出物(ノート・レポート)(80 %)
- ☐ ポートフォリオ() % ☐ 成果発表(口頭・実技)(20 %)
- ☐ その他()() %

10月提出予定の学修成果(研究論文)を80%、その研究について2月に開催される歯科衛生研究会での発表(パワーポイント、プレゼンテーションスキル)を20%として評価する。

オフィスアワー

在室時随時・短期大学教授室 (3号館2階) E-mail: akjc@ngt.ndu.ac.jp (宮崎晶子)
在室時随時・短期大学教授室 (2号館3階) E-mail: imaiak@ngt.ndu.ac.jp (今井あかね)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	宮崎 晶子 今井あかね	オリエンテーション 研究テーマについて（1）	1. テーマについて文献検索できる。 2. テーマについて具体的に現状をまとめることができる。 専門G
	準備学習	興味のある分野の文献検索を行う。	
第2回	宮崎 晶子 今井あかね	研究テーマについて（2）	1. テーマについて文献検索できる。 2. テーマについて具体的に現状をまとめることができる。 専門G
	準備学習	興味のある分野の文献検索を行う。	
第3回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究テーマの発表	1. 仮説を検証するプロセスを説明できる。 2. 研究テーマの概要を説明できる。 専門G
	準備学習	研究したい分野の文献をまとめる。	
第4回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究計画の検討	1. 研究テーマの仮説を検証する研究計画を立案できる。 2. 研究方法を選択する。 専門G
	準備学習	担当教員と研究テーマについてディスカッションを行う。	
第5回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究テーマの決定	1. 研究計画を実践する。 2. 研究テーマの見直しを行う。 専門G
	準備学習	テーマにより担当教員の変更あれば打ち合わせを行う。	
第6回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1. 研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	
第7回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1. 研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	
第8回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1. 研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	
第9回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1. 研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	
第10回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1. 研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	

第11回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1.研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	
第12回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1.研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	
第13回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	研究（1）	1.研究計画を実践する。 専門G
	準備学習	各自研究をすすめる。	
第14回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	学修成果の作成（1）	1.研究計画を実践する。 2.研究した学修成果を論文形式にまとめる。 3.論文の体裁の確認を行う。 4.取得単位の計算を行う。 5.単位入力作業を行う。 専門G
	準備学習	申請書類をそろえる。	
第15回	宮崎 晶子 今井あかね 担当教員	学修成果の作成（2）	
	準備学習	申請書類をそろえる。	

授業科目名

地域保健指導実習

授業形態

演習

授業責任者

煤賀 美緒

学年

専攻科

学期

通年

曜日

未定

授業時間

未定

授業概要

学齢期における地域保健指導の現場として、小学校では学級指導を行い発育段階に合わせた保健教育を計画・実践する。また、新潟県内の歯科保健事業について理解する。新潟県内で実施されている地域歯科保健活動の現場見学を行い、地域における歯科衛生士の役割や他職種との協働を体験する。

一般目標 (GIO)

歯科衛生士として地域社会の歯科医療に貢献するために必要な知識、技術および態度を修得し、実践力を身につける。

学習成果 (ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果 (カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所にて臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

参考書

アクティブ・ラーニング (複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他 ()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験 () % ☐ 提出物 (ノート・レポート) () %
- ☐ ポートフォリオ (30 %) ☐ 成果発表 (口頭・実技) (70 %)
- ☐ その他 () () %

各小学校での学級指導について、ポートフォリオ形式 (30%) で振り返りを行う。また、各小学校指導でのサポートとしての態度や、木山小学校での指導計画立案から指導までの過程をチェックリストを使って評価する (70%)。

オフィスアワー

月～金曜日・9:00～18:00・3号館2階研究室Ⅱ、またはメールでも可 (mio@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	清野 可那子	オリエンテーション	1.各地域活動の概要を理解する。専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第2回	煤賀 美緒 清野 可那子	小学校での保健指導(1) A 小学校 (準備と打合せ)	1.指導者からの指示内容を理解した行動ができる。 2.対象に応じて配慮した対応ができる。 3.集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第3回	煤賀 美緒 清野 可那子	小学校での保健指導(2) A 小学校 学級指導 (実践)	1.指導者からの指示内容を理解した行動ができる。 2.対象に応じて配慮した対応ができる。 3.集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第4回	煤賀 美緒 清野 可那子	小学校での保健指導(3) A 小学校 学級指導 (実践)	1.指導者からの指示内容を理解した行動ができる。 2.対象に応じて配慮した対応ができる。 3.集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第5回	病院歯科衛生士	小学校での保健指導(1) B 小学校 (準備と打合せ)	1.指導者からの指示内容を理解した行動ができる。 2.対象に応じて配慮した対応ができる。 3.集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第6回	病院歯科衛生士	小学校での保健指導(2) B 小学校 学級指導 (実践)	1.指導者からの指示内容を理解した行動ができる。 2.対象に応じて配慮した対応ができる。 3.集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第7回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	小学校での保健指導(1) C 小学校（指導計画と準備）	1.対象に合わせた指導内容を説明できる。 2.集団を対象にした歯科衛生教育活動を説明できる。 3.学年別の指導原稿・媒体を作成できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第8回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	小学校での保健指導(2) C 小学校（指導計画と準備）	1.対象に合わせた指導内容を説明できる。 2.集団を対象にした歯科衛生教育活動を説明できる。 3.学年別の指導原稿・媒体を作成できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	各現場の打ち合わせ資料を読む。	
第9回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	小学校での保健指導(3) C 小学校（指導計画と準備）	1.対象に合わせた指導内容を説明できる。 2.集団を対象にした歯科衛生教育活動を説明できる。 3.学年別の指導原稿・媒体を作成できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	小学校の指導要領を確認する。	

第10回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	小学校での保健指導(4) C小学校（指導計画と準備）	1.対象に合わせた指導内容を説明できる。 2.集団を対象にした歯科衛生教育活動を説明できる。 3.学年別の指導原稿・媒体を作成できる。 専門F-2-1）～3）
		指導計画・媒体作成を行う。	
第11回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	C小学校 学級指導	1.対象に応じて配慮した対応ができる。 2.集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 3.他者と協働して実践する。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	指導計画・媒体作成を行う。	
第12回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	小学校での保健指導(6) C小学校 （評価とフィードバック）	1.対象に応じて配慮した対応ができる。 2.集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 3.他者と協働して実践する。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	指導計画・媒体作成を行う。	
第13回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	特別支援学校での 保健指導(1) （準備と打合せ）	1.対象に応じて配慮した対応ができる。 2.小集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	指導計画・媒体作成を行う。	
第14回	煤賀 美緒 清野 可那子 宮崎 晶子	特別支援学校での 保健指導(2) （学級・個別指導 実践）	1.対象に応じて配慮した対応ができる。 2.小集団を対象に歯科衛生教育活動を実践できる。 専門F-2-1）～3）
	準備学習	障害児歯科学の教本を読む。	
第15回	煤賀 美緒	総 括	1.地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割を説明する。 専門F-2-1）～3）
	準備学習		

授業科目名

歯科衛生学演習

授業形態

演習

授業責任者

土田 智子

学年

専攻科

学期

前期

曜日

火曜日

授業時間

13:00～16:00

授業概要

3年間の歯科衛生学科での学びを活かし、さらに高度な知識・技術を修得するとともに、歯科衛生学分野を更に追及するための基本的な情報収集方法について学びを深める。

一般目標(GIO)

歯科衛生学分野で必要となる高度で専門的な知識・技術を修得する。歯科衛生養成課程で修得した知識をエビデンスに基づいた情報収集についても学びを深める。歯科衛生士として地域社会の歯科医療に貢献するために必要な知識、技術および態度を修得し、実践力を高める。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所にて臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科予防処置論・歯科保健指導論

参考書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯周病学
 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科診療補助論

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(100%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

実習に関するレポート評価(100%)で評価する。また、レポートは提出日から1日遅れるごとに1点減点して評価する。

オフィスアワー

授業責任者 土田智子(stjc@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	土田 智子	口腔内撮影実習①	1. 口腔内写真について説明する。 2. 12枚法にて口腔内写真撮影を実施する。 3. 口腔内撮影時の患者の心理を理解する。
	準備学習	歯科診療補助論P92～95を参照の上参加すること。	
第2回	土田 智子	口腔内撮影実習②	1. 口腔内写真について説明する。 2. 12枚法にて口腔内写真撮影を実施する。 3. 口腔内撮影時の患者の心理を理解する。
	準備学習	歯科診療補助論P92～95を参照の上参加すること。	
第3回	嵐 聖芽 清野 可那子	口腔内診査実習	1. 全顎の菌周ポケット測定を実施する。 2. 動揺度を測定する。 3. 根分岐部病変の検査を実施する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第4回	煤賀 美緒	成人のBLS	1. 成人に対するBLS手順を説明する。 2. 成人マネキンに対し一人法BLSを実施する。 3. 成人マネキンに対し二人法BLSを実施する。 4. 成人マネキンに対しAEDを使用する。 5. チームダイナミクスを体験する。
	準備学習	1～3年時に履修した救急蘇生法について要復習のこと。	
第5回	煤賀 美緒	小児・乳児のBLS	1. 成人と小児・乳児のBLSの違いを説明する。 2. 小児マネキンに対し一人法BLSを実施する。 3. 乳児マネキンに対し一人法BLSを実施する。 4. 乳児マネキンに対し二人法BLSを実施する。 5. 乳児マネキンに対し、反応がある場合の窒息介助を行う。
	準備学習	1～3年時に履修した救急蘇生法について要復習のこと。	
第6回	煤賀 美緒	成人および乳児BLS 実技試験	1. 成人マネキンに対し一人法BLSを実施する。 2. 成人マネキンに対しAEDを使用する。 3. 乳児マネキンに対し一人法BLSを実施する。 4. 乳児マネキンに対し二人法BLSを実施する。
	準備学習	1～3年時に履修した救急蘇生法について要復習のこと。	
第7回	土田 智子 榎 志佳	パウダーメンテナンス	1. パウダーメンテナンスの種類を述べる。 2. パウダーメンテナンスの操作方法を知る。 3. パウダーメンテナンスを体験する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第8回	土田 智子 榎 志佳	パウダーメンテナンス	1. パウダーメンテナンスを実践する。 2. 患者の気持ちを理解する。 3. パウダーメンテナンスの効果を知る。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第9回	土田 智子 榎 志佳	パウダーメンテナンス	1. パウダーメンテナンスを実践する。 2. 患者の気持ちを理解する。 3. パウダーメンテナンスの効果を知る。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	

第10回	今井 あかね 土田 智子	グループ学習①	1. 科学的根拠に基づいて理解する。 2. 多くの情報を集める。 3. 情報を整理する。
	準備学習	事前配布資料を確認して参加すること。	
第11回	今井 あかね 土田 智子	グループ学習②	1. 科学的根拠に基づいて理解する。 2. 多くの情報を集める。 3. 情報を整理する。
	準備学習	事前配布資料を確認して参加すること。	
第12回	今井 あかね 土田 智子	グループ学習③	1. 科学的根拠に基づいて理解する。 2. 多くの情報を集める。 3. 情報を整理する。
	準備学習	事前配布資料を確認して参加すること。	
第13回	嵐 聖芽 清野 可那子	歯周予防・う蝕プレゼンテーション①	1. スケーラーの種類と使用目的を説明する。 2. う蝕予防処置に関する生活習慣の把握方法と項目を説明する。 3. 配合フッ化物の種類と特徴を説明する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第14回	嵐 聖芽 清野 可那子	歯周予防・う蝕プレゼンテーション①	1. スケーラーの種類と使用目的を説明する。 2. う蝕予防処置に関する生活習慣の把握方法と項目を説明する。 3. 配合フッ化物の種類と特徴を説明する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第15回	嵐 聖芽 清野 可那子	歯周予防・う蝕プレゼンテーション①	1. スケーラーの種類と使用目的を説明する。 2. う蝕予防処置に関する生活習慣の把握方法と項目を説明する。 3. 配合フッ化物の種類と特徴を説明する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	

授業科目名

歯科臨床実地

授業形態

実習

授業責任者

土田 智子

学年

専攻科

学期

通年

曜日

火曜・水曜

授業時間

火曜:13:30～17:00

水曜:8:30～17:00

授業概要

歯科衛生士養成課程で修得した基礎的な知識、技能、態度をもとに新潟病院の実習を中心に、口腔保健医療のニーズに対応しうる歯科衛生士として、歯科医療に関する知識と技能を総合的に理解し、医療人としての問題解決能力を身につける。

一般目標(GIO)

多職種とのチーム医療を実践するため、新潟病院の各科・専門外来において、口腔衛生のみならず全身の状況に関する臨床的な知識を身につけ、専門的知識を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書**参考書**

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)全書

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)() (%)
- ☐ ポートフォリオ(100%) ☐ 成果発表(口頭・実技)() (%)
- ☐ その他() () (%)

各科により、課題や評価方法が異なるため、所属の場所において追加説明を行う。

オフィスアワー

実習全体について問い合わせは、土田(stjc@ngt.ndu.ac.jp)まで。
なお、実習の詳細については各現場の担当者に確認をとること。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第2回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第3回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第4回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第5回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第6回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第7回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第8回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第9回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第10回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	

第11回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第12回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第13回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第14回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第15回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	

授業科目名

歯科衛生士教育実習

授業形態

実習

授業責任者

煤賀 美緒

学年

専攻科

学期

通年

曜日

月曜日
金曜日

授業時間

13:00～17:40

14:40～17:40

授業概要

歯科保健・医療に携わる歯科衛生士として、後進の育成も重要である。本実習では、これまで修得した専門知識・技術及び態度を、歯科衛生士教育の実習現場で実際に適用する体験を通じて、学生に対する理解を深め、教育に必要な実践的能力および自己教育力を形成する。予習時間における、各実習担当者との打合せや自己練習も教育力修得のため重要、必須である。

一般目標(GIO)

歯科保健・医療に携わる歯科衛生士として後進育成、歯科衛生士教育の現場で活躍するために、学生教育に必要な実践的能力および自己教育力に関する知識・技術・態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

参考書

歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論(医歯薬出版)
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学(医歯薬出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)() (%)
- ☐ ポートフォリオ(100 %) ☐ 成果発表(口頭・実技)() (%)
- ☐ その他() () (%)

各実習にインストラクターとして参加すること、到達度の自己評価や次回の課題などをまとめたポートフォリオ(100%)にて評価する。

オフィスアワー

月～金曜日 16:00～18:00 (3号館2階 研究室Ⅱ) 連絡先: mio@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	煤賀 美緒	オリエンテーション	1. 歯科衛生士教員の役割について説明する。 2. 効果的なフィードバックを行う。 3. 効果的なデモンストレーションを行う。
	準備学習	歯間ブラシ、フロスの使用方法、口腔清掃の意義、PIIなどを復習のうえ実習に望んで下さい。	
第2回	煤賀 美緒	補助用具の説明・指導	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 学生に対し効果的なフィードバックを行う。
	準備学習	第1回の内容を要復習の上実習に臨むこと。事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第3回	土田 智子	感染予防対策	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第4回	煤賀 美緒	P I I	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. P I Iのデモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第5回	榎 志佳	バキューム操作	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. デモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第6回	土田 智子	歯科材料の取り扱い	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第7回	煤賀 美緒 宮崎 晶子	口腔のケア (1) ・ベッド上 ・車椅子上	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 口腔のケアの一連をデモンストレーションする。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	

第8回	宮崎 晶子	合同実習（1）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第9回	煤賀 美緒 宮崎 晶子	口腔のケア（2） ・ベッド上 ・車椅子上	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 口腔のケアの一連をデモンストレーションする。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第10回	榎 志佳	印象採得～模型作成（1）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. デモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第11回	宮崎 晶子	合同実習（2）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第12回	煤賀 美緒 宮崎 晶子	口腔のケア（3） ・ベッド上 ・車椅子上	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 口腔のケアの一連をデモンストレーションする。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第13回	榎 志佳	印象採得～模型作成（2）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. デモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第14回	宮崎 晶子	合同実習（3）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	

第15回	清野 可那子	PMTC (相互)	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 医療安全管理および感染予防に応じた行動をする。 5. PMTCの操作方法をデモンストレーションする。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第16回	加藤 千景	早期体験実習（1）	1. 新潟病院へ学生を引率する。 2. 現場の医療スタッフと連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第17回	加藤 千景	早期体験実習（2）	1. 新潟病院へ学生を引率する。 2. 現場の医療スタッフと連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第18回	加藤 千景	早期体験実習（3）	1. 新潟病院へ学生を引率する。 2. 現場の医療スタッフと連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第19回	加藤 千景	早期体験実習（4）	1. 新潟病院へ学生を引率する。 2. 現場の医療スタッフと連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	

授業科目名

食育・食指導演習(選択)

授業形態

演習

授業責任者

今井 あかね

学年

専攻科

学期

後期

曜日

火曜日

授業時間9:00～10:20
10:40～12:00**授業概要**

摂食機能の回復・維持を使命とする歯科においても「食育」への関与は重要かつ必須である。医療のなかでも歯科は治療から予防へのシフトが大きく進んでいる領域である。生活習慣の見直しと改善が必要であり、その中でも食習慣は重要な因子である。歯科衛生士として患者により適切な食生活指導ができるよう高齢者向けの献立を考え、実際に調理を体験する。さらに食事を楽しむ、ワンステップ上の指導ができるよう食生活アドバイザー3級の合格をめざす。

一般目標(GIO)

「食べる」を通して口腔健康管理と健康づくりの視点から、全般的・実践的な食生活の知識を身につけ、歯科衛生士としての立場から「食事」への的確なアドバイスができるような技能を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

改訂版 食生活アドバイザー3級公式テキスト&問題集 FLAネットワーク協会

参考書

食生活アドバイザー2・3級公式ポイントチェック
食生活アドバイザー®検定試験科目別過去問題集 3級

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他(調理実習)

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(70 %) ☐ 提出物(ノート・レポート)(10 %)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表表(口頭・実技)(20 %)
- ☐ その他() (%)

食生活アドバイザー検定試験の点数(70%)と、調理実習における実技(20%)・レポート(10%)により評価を行う。

オフィスアワー

在室時随時・短期大学教授室 (2号館3階) E-mail: imaiak@ngt.ndu.ac.jp (今井あかね)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	今井 あかね	ガイダンス	1. 歯科と食のかかわりの重要性を説明する。 2. 食生活アドバイザーの役割を述べる。
	準備学習	教科書 第序章を熟読して食生活アドバイザーの役割を理解する。	
第2回	青木 悠	高齢者の食事	1. 高齢者に必要な食事の特徴を列挙する。 2. 高齢者向けメニューを述べる。
	準備学習	高齢者の特徴からどのような食事がよいのか1年生で習った栄養・食生活概論を復習する。	
第3回	青木 悠 井越 菜々美	調理実習（1）	高齢者向けメニューの調理を実施する。
	準備学習	レシピを熟読して調理のイメージトレーニングをする。協力して食材を準備・調達する。	
第4回	今井 あかね	栄養と健康に関する基礎知識（1）	1. 「ウエルネス上手になろう」を読み、栄養・ダイエット・病気予防・運動・休養について説明する
	準備学習	教科書 第1章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第5回	青木 悠 井越 菜々美	調理実習（2）	高齢者向けメニューの調理を実施する。
	準備学習	レシピを熟読して調理のイメージトレーニングをする。協力して食材を準備・調達する。	
第6回	今井 あかね	栄養と健康に関する基礎知識（2）	1. 「ウエルネス上手になろう」の模擬問題を解き、栄養・ダイエット・病気予防・運動・休養の要点を記述する。
	準備学習	教科書 第1章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第7回	今井 あかね	食文化と食習慣に関する基礎知識（1）	1. 「もてなし上手になろう」を読み、行事食・旬・調理・献立・マナー・食の言葉について説明する。
	準備学習	教科書 第2章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第8回	今井 あかね	食文化と食習慣に関する基礎知識（2）	1. 「もてなし上手になろう」の模擬問題を解き、行事食・旬・調理・献立・マナー・食の言葉の要点を記述する。
	準備学習	教科書 第2章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第9回	今井 あかね	食品学に関する基礎知識（1）	1. 「買い物上手になろう」を読み、生鮮食品・加工食品・食品表示・有機食品について説明する。
	準備学習	教科書 第3章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第10回	今井 あかね	食品学に関する基礎知識（2）	1. 「買い物上手になろう」の模擬問題を解き、生鮮食品・加工食品・食品表示・有機食品の要点を記述する。
	準備学習	教科書 第3章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第11回	今井 あかね	衛生管理に関する基礎知識（1）	1. 「段取り上手になろう」を読み、生鮮食品・加工食品・食品表示・有機食品について説明する。
	準備学習	教科書 第4章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第12回	今井 あかね	衛生管理に関する基礎知識（2）	1. 「段取り上手になろう」の模擬問題を解き、生鮮食品・加工食品・食品表示・有機食品の要点を記述する。
	準備学習	教科書 第4章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	

第13回	今井 あかね	食マーケットに関する基礎知識（1）	1.「生き方上手になろう」を読み、流通・外食・メニューメイキング・食品販売について説明する。
	準備学習	教科書 第5章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第14回	今井 あかね	社会生活に関する基礎知識	1.「やりくり上手になろう」を読み、消費経済・関連法規・生活環境・消費者問題について説明する。
	準備学習	教科書 第6章を熟読して練習問題に取り組む。検定試験に合格できるよう勉強する。	
第15回	今井 あかね	まとめ	1.模擬試験を実施して、正しい答えを選択する。
	準備学習	検定試験に合格できるよう勉強する。	

授業科目名

専攻研究

授業形態

演習

授業責任者

宮崎 晶子

学年

専攻科

学期

後期

曜日

木・金

授業時間

9:00～16:00

授業概要

学生の学位取得のため、興味のあるテーマについて教員の指導のもとに研究を行う。研究は、大きく分けて2つの形式があり、研究計画を立案しその計画に従って実験を行うものや、テーマに関する研究論文などの著作物の概要や評価をまとめて記述するものがある。研究成果は論文形式とし、「独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構」に「学修成果」として10月期に提出する。オムニバス方式をとることによって、より高度で専門的な知識や技術を修得する。研究成果は歯科衛生研究会で発表する。さらに希望者には学会誌への論文投稿を目指してもらう。

一般目標 (GIO)

歯科衛生士という視点で、歯科も含めたあらゆる物事に関する疑問や課題について研究し、新しい知識や理論を導きだす能力を修得する。

学習成果 (ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果 (カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所にて臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

各自の専攻研究用ノート

参考書

歯科衛生研究の進め方・論文の書き方 第2版 医歯薬出版

アクティブ・ラーニング (複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他 ()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験 () % ☐ 提出物 (ノート・レポート) (80 %)
- ☐ ポートフォリオ () % ☐ 成果発表 (口頭・実技) (20 %)
- ☐ その他 () () %

10月提出予定の学修成果 (研究論文) を80%、その研究について2月に開催される歯科衛生研究会での発表 (パワーポイント、プレゼンテーションスキル) を20%として評価する。

オフィスアワー

在室時随時・短期大学教授室 (3号館2階) E-mail: akjc@ngt.ndu.ac.jp (宮崎晶子)
 在室時随時・短期大学教授室 (2号館3階) E-mail: imaiak@ngt.ndu.ac.jp (今井あかね)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	宮崎 晶子 今井 あかね	オリエンテーション	1.小論文試験の対策ができる。 2.歯科衛生研究会の発表準備できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 2 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (1)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 3 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (2)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 4 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (3)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 5 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (4)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 6 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (5)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 7 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (6)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 8 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (7)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第 9 回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備 (8)	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	

第10回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	試験対策と発表準備（9）	1.研究内容について質問対策できる。 2.発表原稿を作成できる。 3.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第11回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	小論文試験の振り返りと抄録作成	1.抄録を作成する。 2.小論文試験実施後のレポート作成ができる。 専門G
	準備学習	論文を読み込む。	
第12回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	発表準備（1）	1.発表原稿を作成する。 2.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	発表練習をする。	
第13回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	発表準備（2）	1.発表原稿を作成する。 2.発表内容に合わせたプレゼンテーションを作成できる。 専門G
	準備学習	発表練習をする。	
第14回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	予演会	1.時間内に発表できる。 2.質疑応答できる。 3.発表内容の調整を行うことができる。 専門G
	準備学習	発表練習をする。	
第15回	宮崎 晶子 今井 あかね 担当教員	総 括	1.時間内に発表できる。 2.質疑応答できる。 3.歯科衛生研究の意義を説明する。 専門G
	準備学習	論文を復習する。	

授業科目名

臨床咬合学演習(選択)

授業形態

演習

授業責任者

浅沼 直樹

学年

専攻科

学期

後期

曜日

月曜日

授業時間

13:00～16:00

授業概要

咬合は、咀嚼などの機能だけでなく、全身にも大きな影響をおよぼすことが明らかになっている。また、咬合力のコントロールは補綴治療だけでなく歯周治療の予後にも関係する重要な要素である。したがって歯科診療の原則である残存組織保全と機能回復率向上を達成するためには、歯科衛生士においても咬合・顎機能に関する知識が不可欠となる。本授業では、咬合や顎機能に対する知識と、実際の診療現場で歯科衛生士が相対的歯科医行為として行う可能性のあるゴシックアーチ描記、フェイスボウトランスファーなどの技術を修得する。

一般目標(GIO)

残存組織保全と機能回復率向上を達成するために、咬合の基本事項、顎機能検査および咬合器の取り扱い方法を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学(医歯薬出版)、授業用プリント

参考書

臨床機能咬合学 小出 馨 編集(医歯薬出版)
 チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 井出吉信、小出 馨 編集(医歯薬出版)
 図解咬合採得 小出 馨、西川義昌 編集(医歯薬出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(30%)
- ☐ ポートフォリオ() (%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(70%)
- ☐ その他()() (%)

一般目標で示した項目についての実技試験(70%)と、課題に対するレポート作成内容(30%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・6号館1階浅沼教授室 ※事前にメールで要予約(asanuma@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	咬合の基本的な要素	1. 顎機能と全身との関りを説明する。 2. 顎関節の構造を説明する。 3. 下顎位を説明する。 4. 下顎運動を説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第2回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	顎関節疾患	1. 顎関節疾患の種類と特徴を説明する。 2. 顎関節症の原因・症状・病態を説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第3回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	咀嚼筋の触診 (1)	1. 咀嚼筋の検査法を説明する。 2. 咀嚼筋の評価法を説明する。 3. 咀嚼筋の触診手順を説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第4回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	咀嚼筋の触診 (2)	1. 咀嚼筋の触診を実施する。 2. 咀嚼筋の触診結果を記録する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第5回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	顎関節の触診 (1)	1. 下顎運動を説明する。 2. 顎関節の検査法を説明する。 3. 顎関節の触診手順を説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第6回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	顎関節の触診 (2)	1. 顎関節の触診を実施する。 2. 顎関節の触診結果を記録する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第7回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	概形印象採得	1. 概形印象採得を実施する。 2. 研究用模型を製作する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第8回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	咬合器	1. 咬合器の種類と特徴を説明する。 2. フェイスボウの目的を説明する。 3. チェックバイト法を説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第9回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	フェイスボウトランスファー	1. フェイスボウトランスファーを実施する。 2. 咬合器に模型を装着する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第10回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	ゴシックアーチ描記法と チェックバイト法	1. アンテリアジグを製作する。 2. ゴシックアーチ描記法を実施する。 3. チェックバイトを実施する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	

第11回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	咬合器の顎路調節	1. 半調節性咬合器の操作法を説明する。 2. チェックバイト法で顎路調節を実施する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第12回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	下顎運動の記録（1）	1. 下顎頭運動経路の特徴を説明する。 2. 下顎頭運動経路の検査法を説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第13回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	下顎運動の記録（2）	1. 下顎頭運動経路記録装置を準備する。 2. 下顎頭の運動経路記録を実施する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第14回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	顎関節症の治療	1. 顎関節症の保存療法について説明する。 2. アプライアンス治療について説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	
第15回	浅沼 直樹 土田 智子 嵐 聖芽	総 括	1. これまでの演習内容を説明する。
	準備学習	授業プリントと教科書の関連項目を確認する。	

授業科目名

歯科衛生学演習

授業形態

演習

授業責任者

土田 智子

学年

専攻科

学期

後期

曜日

月曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

3年間の歯科衛生学科での学びを活かし、さらに高度な知識・技術を修得するとともに、歯科衛生士としての基本的スキルを振り返り、自身の課題解決能力を高める。

一般目標(GIO)

歯科衛生学分野で必要となる高度で専門的な知識・技術を修得する。歯科衛生士養成課程で修得した知識をエビデンスに基づいた情報収集についても学びを深める。歯科衛生士として地域社会に歯科医療に貢献するために必要な知識、技術および態度を修得し、実践力を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科予防処置論・歯科保健指導論

参考書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯周病学
 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科診療補助論

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(100%)
- ☐ ポートフォリオ() (%) ☐ 成果発表(口頭・実技)() (%)
- ☐ その他()() (%)

実習に関するレポート評価(100%)で評価する。また、レポートは提出日から1日遅れるごとに1点減点して評価する。

オフィスアワー

授業責任者 土田智子(stjc@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	土田 智子 榎 志佳	印象採得	1. 上顎の印象採得を実施する。 2. 石膏模型を作成する。 3. トリミングを行う。
	準備学習	事前配布資料を確認の上参加すること。	
第2回	土田 智子 榎 志佳	印象採得	1. 下顎の印象採得を実施する。 2. 石膏模型を作成する。 3. トリミングを行う。
	準備学習	事前配布資料を確認の上参加すること。	
第3回	榎 志佳 土田 智子	診療室の環境整備①	1. 生け花の歴史、基礎を理解する。 2. 診療室における生け花の効果を知る。 3. 季節に合わせた生け花を実践する。
	準備学習	使用される花材の名称や花言葉を調べて参加すること。	
第4回	煤賀 美緒	歯磨剤の科学	1. 歯磨剤に配合される成分の作用を説明する。 2. 歯磨剤の基礎研究、臨床試験の概要を理解する。 3. 歯磨剤の各種効果の科学的根拠を説明する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第5回	嵐 聖芽 清野可那子	スクーリング実習	1. 各部位に応じた的確なスクーリング操作を行うための条件を述べる。 2. 各部位に応じたスクーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスクーラーを選択する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第6回	嵐 聖芽 清野可那子	スクーリング実習	1. 各部位に応じた的確なスクーリング操作を行うための条件を述べる。 2. 各部位に応じたスクーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスクーラーを選択する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第7回	嵐 聖芽 清野可那子	スクーリング実習	1. 各部位に応じた的確なスクーリング操作を行うための条件を述べる。 2. 各部位に応じたスクーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスクーラーを選択する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第8回	嵐 聖芽 清野可那子	スクーリング実習	1. 各部位に応じた的確なスクーリング操作を行うための条件を述べる。 2. 各部位に応じたスクーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスクーラーを選択する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第9回	嵐 聖芽 清野可那子	スクーリング実習	1. 各部位に応じた的確なスクーリング操作を行うための条件を述べる。 2. 各部位に応じたスクーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスクーラーを選択する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	

第10回	榎 志佳 土田 智子	診療室の環境整備	1. 生け花の歴史、基礎を理解する。 2. 診療室における生け花の効果を知る。 3. 季節に合わせた生け花を実践する。
	準備学習	使用される花材の名称や花言葉を調べて参加すること。	
第11回	榎 志佳 土田 智子	診療室の環境整備	1. 生け花の歴史、基礎を理解する。 2. 診療室における生け花の効果を知る。 3. 季節に合わせた生け花を実践する。
	準備学習	使用される花材の名称や花言葉を調べて参加すること。	
第12回	嵐 聖芽 清野可那子	フッ化物歯面塗布実習	1. フッ化物歯面塗布のトレー法を実施する。 2. フッ化物応用におけるメンテナンスの目的と必要性を説明する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第13回	嵐 聖芽 清野可那子	う蝕活動性試験①	1. う蝕活動性試験を実施する。 2. う蝕活動性試験を評価し、う蝕予防プログラムを立案できる。 3. う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を理解する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第14回	嵐 聖芽 清野可那子	う蝕活動性試験②	1. う蝕活動性試験を実施する。 2. う蝕活動性試験を評価し、う蝕予防プログラムを立案できる。 3. う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を理解する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	
第15回	嵐 聖芽 清野可那子	う蝕活動性試験③	1. 立案したう蝕予防プログラムについて対象者へ指導を行う。 2. う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を理解する。
	準備学習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認して参加すること。	

授業科目名

生命科学論

授業形態

講義

授業責任者

東理 頼亮

学年

専攻科

学期

後期

曜日

火曜日

授業時間

9:00～10:20・10:40～12:00

授業概要

科学技術の進歩により、私たちを取り巻く生活様式は大きく変化している。医療においても再生医療の可能性は拡大し、生命科学は目覚ましい進展を見せている。そこで、生命活動を維持する基本的な仕組みを理解するために、新しい知見を取り入れながら、生命科学の知識を修得する。

一般目標(GIO)

細胞・組織レベルでみられる恒常性や病的変化から生命維持のメカニズムを理解し、生命科学の基礎知識を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

プリント(各担当教員が準備します)

参考書

【歯科衛生士シリーズ】(医歯薬出版)生物学、歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学、疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学、疾病の成り立ち及び回復の促進1 病理学・口腔病理学

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(40%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(40%)
- ☐ その他(小テスト)(20%)

各教員から出題される提出物(40%)と、毎回の講義の際の小テスト(20%)および講義内容のアウトプットを示すための口頭発表(40%)により評価を行う。

オフィスアワー

東理頼亮 : 病理学講座(病院棟3階) E-mail: ykanriy@ngt.ndu.ac.jp
 熊倉雅彦 : 解剖学第2講座(4号館3階) E-mail: kumakura@ngt.ndu.ac.jp
 今井あかね : 在室時随時・短期大学教授室(2号館3階) E-mail: imaik@ngt.ndu.ac.jp 各教員とメールで連絡後に時間を決定すること。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク① 短期大学時代に修得した病理学の知識と実際の患者さんの主訴・現症を照らし合わせながら、疾患の組織学的な詳細を理解していく。	1. 正常な口腔粘膜の構造を理解する。 2. 口腔粘膜疾患を説明する。
	準備学習	病理学テキスト P122～P132	
第2回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク② 病院実習時代に体験した患者さんの症状を思い出ししながら、病理組織像を観察し、病態を細胞・組織レベルで理解する。	1. 唾液腺疾患の症状を説明する。 2. 唾液腺腫瘍を説明する。
	準備学習	病理学テキスト P161～P166	
第3回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク③ 病院実習時代に見学した手術室の光景を思い出ししながら、摘出された病変の病理組織学的所見を理解する。	1. 正常組織から病変に変化するまでの推移を理解する。 2. 上皮性悪性腫瘍を説明する。
	準備学習	病理学テキスト P60～P68、P137～P150	
第4回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク④ 短期大学時代の講義スライドで紹介された多くの疾患の中から1つをピックアップし、顕微鏡レベルで再び見直した上で、病態の詳細を理解する。	1. 根尖性疾患の症状を理解する。 2. 嚢胞を説明する。
	準備学習	病理学テキスト P105～P108、P133～P137	
第5回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク⑤ 正常な組織構造と比較して、病気になった時の組織は、どのように変化しているのか、比較観察をしながら形態学的に理解する。	1. 根尖性歯周疾患の病因や病態を理解する。 2. 根尖性歯周炎を分類し、その特徴を説明する。 3. 歯周疾患の病因や病態を説明する。
	準備学習	病理学テキスト P110～P117	
第6回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク⑥ 病理学の教科書の1ページに掲載されている病理組織像から主な臨床症状をピックアップし、疾患の総合的な特徴を理解する。	1. う蝕の病因と病態を理解する。 2. う蝕を組織学的に分類し、その特徴を説明する。
	準備学習	病理学テキスト P88～P95	

第7回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク⑦ 病理の教科書に掲載されている模式図は実際の病理組織像とどれだけ近似しているか、比較観察をしながら学生間で意見交換を行う。	1. 歯髄疾患の病因や病態を理解する。 2. 歯髄炎を分類し、その特徴を説明する。
	準備学習	病理学テキストP97～P103	
第8回	東理 頼亮	臨床症状と病理組織像とのクロスリンク⑧ 7回にわたって行われてきた臨床症状と病理組織像との比較を繰り返し、得られた知識を今後の臨床にいかに関活用していくかを検討する。	1. 顎口腔系疾患の主要な臨床症状を説明する。 2. 主要な顎口腔系疾患の病理組織像の特徴を説明する。
	準備学習		
第9回	今井 あかね	食と栄養のサイエンス（1）	1. 食行動における味覚・嗅覚の役割を述べる。 2. 内臓感覚神経による摂食調節を説明する。 3. 栄養・代謝シグナルと血液の関係を説明する。
	準備学習		
第10回	熊倉雅彦	科学的思考法-1	身近な科学技術をピックアップし、その技術について学ぶ。
	準備学習	興味のある科学技術をピックアップしておく。	
第11回	東理 頼亮	原著論文の読解①	臨床で遭遇しやすい疾患を原著論文を読みながら学ぶ。
	準備学習		
第12回	熊倉雅彦	科学的思考法-2	科学の発展に寄与した技術について学ぶ。
	準備学習	興味のある科学技術に関係すると思われる事象をピックアップしておく。	
第13回	東理 頼亮	原著論文の読解②	臨床で遭遇しやすい疾患を原著論文を読みながら学ぶ。
	準備学習		
第14回	熊倉雅彦	科学的思考法-3	科学技術の開発につながる、発想について学ぶ。
	準備学習	ある科学技術を実現するにはどうしたらいいのかを考えておく。	
第15回	今井 あかね	食と栄養のサイエンス（2）	1. ストレスによる食行動の変容メカニズムを具体的に述べる。 2. 食によるヘルスケアを実現するための方策を具体的に述べる。
	準備学習		

授業科目名

歯科臨床実地

授業形態

実習

授業責任者

土田 智子

学年

専攻科

学期

通年

曜日

火曜・水曜

授業時間

火曜:13:30～17:00

水曜:8:30～17:00

授業概要

歯科衛生士養成課程で修得した基礎的な知識、技能、態度をもとに新潟病院の実習を中心に、口腔保健医療のニーズに対応しうる歯科衛生士として、歯科医療に関する知識と技能を総合的に理解し、医療人としての問題解決能力を身につける。

一般目標(GIO)

多職種とのチーム医療を実践するため、新潟病院の各科・専門外来において、口腔衛生のみならず全身の状況に関する臨床的な知識を身につけ、専門的知識を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所にて臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書**参考書**

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)全書

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)() (%)
- ☐ ポートフォリオ(100%) ☐ 成果発表(口頭・実技)() (%)
- ☐ その他() () (%)

各科により、課題や評価方法が異なるため、所属の場所において追加説明を行う。

オフィスアワー

実習全体について問い合わせは、土田(stjc@ngt.ndu.ac.jp)まで。
なお、実習の詳細については各現場の担当者に確認をとること。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第2回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第3回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第4回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第5回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第6回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第7回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第8回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第9回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第10回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	

第11回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第12回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第13回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第14回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	
第15回	現場担当者	日本歯科大学 新潟病院実習	1.指導者からの指示内容を踏まえ対応する。 2.スタッフと協働し、連携のとれた患者対応を行う。 3.病院内のルールを理解し行動する。
	準備学習	実習内容を事前確認の上、参加すること。	

授業科目名

歯科衛生士教育実習

授業形態

実習

授業責任者

煤賀 美緒

学年

専攻科

学期

通年

曜日

木曜日
金曜日

授業時間

9:00～12:00
13:00～16:00

授業概要

歯科保健・医療に携わる歯科衛生士として、後進の育成も重要である。本実習では、これまで修得した専門知識・技術及び態度を、歯科衛生士教育の実習現場で実際に適用する体験を通じて、学生に対する理解を深め、教育に必要な実践的能力および自己教育力を形成する。予習時間における、各実習担当者との打合せや自己練習も教育力修得のため重要、必須である。

一般目標(GIO)

歯科保健・医療に携わる歯科衛生士として後進育成、歯科衛生士教育の現場で活躍するために、学生教育に必要な実践的能力および自己教育力に関する知識・技術・態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 医療人としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- ☐ ② 専門分野の高度な知識・技能を修得し、保健・医療・福祉・介護に貢献できる能力を持つ。
- ☐ ③ 科学的根拠に基づいた口腔保健を実践できる。
- ☐ ④ 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 興味のある領域について、より深い知識と技術を修得するための臨床教育を行う。
- ☐ ② 豊富な知識と技術を得るために多様な研修場所以て臨床教育を行う。
- ☐ ③ 将来の歯科医療と歯科衛生士教育を担う指導者と成りうる歯科教育実習を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

参考書

歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論(医歯薬出版)
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学(医歯薬出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(50 %) ☐ 成果発表(口頭・実技)(50 %)
- ☐ その他()(%)

各実習にインストラクターとして参加すること、到達度の自己評価や次回の課題などを記録したポートフォリオ(50%)および学生に対して行うデモンストレーション(50%)にて評価する。

オフィスアワー

月～金曜日 16:00～18:00 (3号館2階 研究室Ⅱ) 連絡先: mio@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	榎 志佳	口腔内洗浄・バキューム実習 (1)	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. デモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第 2 回	榎 志佳	口腔内洗浄・バキューム実習 (2)	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. デモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第 3 回	煤賀 美緒	清掃補助用具	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 各種清掃補助用具のデモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第 4 回	清野可那子	フッ化物歯面塗布法 (1) (マネキン)	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. フッ化物歯面塗布法のデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第 5 回	清野可那子	フッ化物塗布法 (相互)	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. フッ化物歯面塗布法のデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第 6 回	煤賀 美緒	OHI、PHP	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 歯垢染色の手技をデモンストレーションする。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第 7 回	榎 志佳	印象採得 (1)	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. デモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	

第8回	煤賀 美緒	ブラッシングセミナー	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員および外部講師と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第9回	榎 志佳	印象採得（2）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. デモンストレーションを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第10回	嵐 聖芽	歯周ポケット測定（マネキン）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 歯周ポケット測定のデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第11回	煤賀 美緒	口腔状況に応じた清掃	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員および外部講師と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第12回	嵐 聖芽	歯周ポケット測定（相互）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 歯周ポケット測定のデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第13回	嵐 聖芽	スケーリング（2）（マネキン）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. スケーリングのデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第14回	煤賀 美緒	歯ブラシプレゼンテーション	1. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 2. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 3. 実習を進行する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	

第15回	嵐 聖芽	スケーリング（４） （マネキン）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. スケーリングのデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第16回	嵐 聖芽	スケーリング （相互）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. シャーピングのデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第17回	煤賀 美緒	ブラッシング方法の 説明・指導	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 学生に対し効果的なフィードバックを行う。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第18回	嵐 聖芽	シャーピング（２） （手用スケーラー）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. シャーピングのデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第19回	嵐 聖芽	歯面研磨 （マネキン）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 歯面研磨のデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	
第20回	嵐 聖芽	歯面研磨 （相互）	1. インストラクターとして実習室のルールを理解し行動する。 2. 歯科衛生士教員と連携し、必要な学生教育をする。 3. インストラクターとして学生に応じたコミュニケーションを取る。 4. 歯面研磨のデモンストレーションを実施する。
	準備学習	事前打ち合わせ内容を把握したうえで参加すること。	

